

これは俺が高校生の時に体験した話だ。と言っても実際何かを見たとか感じたとかじゃないんだけどな。まああんまり期待しないで聞いてほしい。

俺が通っていた高校では変な噂があった。北側の一番奥の階段に何かを取り憑いてるって噂だ。夏なのに冷たい風を感じたとか、階段の下の誰も居ないはずの物置から声が聞こえたとか、さらには黒い人影を見たなんて話もあった。

だが結局ほとんどが又聞きだったから、噂に尾ひれがついているだけだろうと俺は考えていた。一方で「火のない所に煙は立たない」っていう言葉もある。きっと何か少しは変なことがあるんだろうとは思っていた。

まあそんな感じで人によって気にしたり気にしなかったりしつつ、特に何か支障があるわけでもなく学校生活は続いていたんだ。でも人から人へ話が伝わるにつれて段々誇張されていったらしく、話を聞いた新入生の一部が怖くてその階段を通れないなんて言い始める事態にまでなってしまった。

誰かに実害があったわけでもないし、土地としても曰く付きじゃない。先生方はただの噂だってあらためて呼びかけたけど、まあそれが逆に興味を煽ってしまっただけにもこうにも収拾がつかなくなったってわけだ。

そんな状況を憂慮してか面白く思ってたか、一人の物理教師が調査するって言い出したんだ。ちゃんと調査して科学で説明がつくってわかったら当然怖くなくなるし、何なら改善だってできてしまう。打つ手がなかった先

生方は洪々といった感じでその策に乗った。

それが決まった翌日、その先生……「先生と呼ぼうか。」「先生が色んな機械を持って調査を始めたんだ。校長に許可を取って泊まり込みで調べるなんて日もあった。」

「先生はまず生徒に聞いて噂をまとめた。」

夏でもどこからか冷たい風が吹くことがある。何かすすり泣いているような声が聞こえる。風が弱い日なのに窓がガタガタ鳴ることがある。

他にも色々あったがまともそうなのはこんなところだ。「先生はそれを元に色々検証のための実験を考えた。」

まずは現状をカメラで記録した。あとは風速や天気、時間帯なんかを詳細に記録して、異常があったときとの違いを見ようとしていた。動く物を捉えるカメラを夜中も動かしたり、音の波形を調べる機械なんかも設置したりした。もうちょつとあった気がするが細かいことは忘れちゃったな。

最初の内は俺たち生徒も面白がつて見に行ったんだが、そのうちに段々と飽きていった四日後には熱心に経過を聞いているのは俺と他数名くらいになった。

写真や波形のデータなんかも見せてもらった。何か見つけられないかと不審な点を探したんだが、俺には良くわからなかった。先生はそれを大事な手がかりだって言ってたけどね。

それから大体一週間くらいだったかな。ようやく調査が終わった。

生徒にはショートホームルームでそれとなく伝えられたことだが、結果として全部科学的に説明できるとのことだった。そして「先生が放課後検

証実験を見せるから気になる生徒は行つて来なさいって言つて、もうその話は終わりという雰囲気だった。

まあ言葉で言われても長い思い込みは解決できるものじゃないし、最初から気にしていない人を巻き込んで話をするのも迷惑だっただろうしな。

そんなわけで放課後、もちろん俺は見に行つた。

気になる原因だが、結論としてはほとんど風だった。とはいえそんなに風通しが良いわけでもなく、それだけだと納得できそうになかった。

だが大事なのはここから。なんと普段は鍵がかかっているが階段裏に地下室があるのだそう。特別に鍵を借りて中を開けて調査をしていらない。

危ないからという理由で俺たちは上から覗くだけだったが、→先生は中に入つていった。

しばらくすると噂通りのすすり泣きみたいな音が聞こえてきた。どうやら中に通気口があるらしく、換気扇を止めた状態でうまいこと風が吹くと笛の要領で音が出るのだそう。波形を見ればわかったことらしい。

そして冷たい風もこの地下室から来るもの。細かいのは忘れたが他の噂もこんな感じでどんどん処理されていった。雑多な噂はこの一週間では再現されなかったものがほとんどだった。それらは恐怖から来る思い込みが原因だろうとのことだった。

大体の生徒は納得と同時につまらなさそう感じたが、一部の生徒はまだ納得しきっていなかった。窓を閉め切つていても風が通るのはおかしいという主張だ。

すると→先生は少し考え込んだ後、ああ伝えるのを忘れていたと言つて

天井の方を指さした。天窓が開いていた。そこから風が入つて来ていたらしい。

もちろん他にも色々疑問をぶつけられたが、→先生はほとんど淀みなく答えていつて疑問はなくなつていった。だが俺には一つ疑問があった。

解散した後で物理準備室にいる→先生に一人で聞きに行った。そこで俺は調査初日の写真を見せてほしいと言つた。→先生は黙つて写真を出してくれた。俺の疑問は当たりだった。

調査初日には天窓が開いていなかった。

そのことを問い詰めたら→先生は観念したように全てを話してくれた。調査から三日間は確かに天窓は閉まつていた。だが調査のために周囲の窓を全部閉めるということが続けていると、いつの間にか天窓が開いていたらしい。用務員さんのところに聞きに行つたが、天窓を開けるなんて予定はなく、そもそも数年前に鍵を紛失したきり天窓は閉まりっぱなしだったそう。

脚立に登つて天窓を間近に見たが、こじ開けられた形跡もなかった。そもそも脚立なんかを引っ張り出してこなければ触れることすら叶わないところだ。さらに不可解なことに、天窓が開く前日から翌日にかけてもカメラにはそれらしき怪しい人影の類は何も映つていなかった。

俺だつて写真を熱心に見ていなければ何も気付かなかつたことだ。他に聞いてきた人はいないから、この話は口外無用ということになった。でも数年前に改装工事があつて例の階段は無くなったから時効だろう。

まあ、あの階段は俺たちだけの通り道じゃなかつたってことだな。